

# 安心して暮らせる力強いまちづくり

福知山市議会議員

# 片山まさき

## 議会報告 No.4 号

(令和6年7月23日 発行)



連日の長雨に見舞われました今年の梅雨も明け、いよいよ夏本番の到来となりました。全国各地で集中豪雨に伴う被害も発生しておりますが、幸い本市においては大きな被害もなく安堵しているところであります。

本年3月定例会において、一般会計・特別会計・企業会計を合わせた総額986億7千万円の当初予算が可決され、令和6年度の市政運営がスタートいたしました。

その後、新文化ホール整備の見直しを求める8,286名もの署名を添えた住民投票条例制定要求の提出を受け、令和6年5月臨時会が開会され、住民投票条例、並びに関係予算についての審議がおこなわれました。

審議にあたり8,286名の民意は極めて尊いものと考え熟慮に熟慮を重ねましたが、私自身これ以上住民の皆さん同心が二分されることを避けるべきとの判断に至り、本会議においても賛成少数で否決されたところであります。

住民の皆さんお一人お一人の民意の上に市政が成り立っているということを痛感させられた臨時会となりました。また、6月定例会が6月28日に開会され上程議案に対する集中審議の結果、全議案を可決し本日閉会となったところであります。

ついては、6月定例会におきまして可決されました補正予算概要、並びに私が登壇いたしました一般質問につきまして以下のとおり報告させていただきます。

### 令和6年第3回(6月)定例会一般会計補正予算

No.	事業名	補正額(千円)	備考
1	保育土確保対策事業	450	債務負担行為の設定
2	介護人材確保対策事業	4,106	
3	ゼロカーボンシティ推進事業	14,300	
4	有害鳥獣防除事業	700	
5	観光アクションプラン策定事業	1,000	
6	奨学金返済負担支援事業	1,028	
7	やくの高原活性化事業	8,278	
8	大江地域施設改修事業	32,000	
9	花火大会検証事業	2,290	
10	大規模災害対応力強化事業	3,015	
11	内水対策事業	12,000	
12	除雪関連事業	628	
13	社会資本整備総合交付金事業(道路整備)	15,000	
14	道路改良事業	40,000	
15	水洗化促進補助事業	150	
16	公民連携事業	1,000	
17	施設マネジメント事業	80	債務負担行為の設定
18	市政案内事業	2,819	
19	コミュニティ助成事業(まちづくり推進課)	6,800	
20	コミュニティ助成事業(危機管理室)	1,800	
21	消防団施設整備事業	69,349	
22	民間保育所施設整備事業	53,637	
23	新型コロナウイルスワクチン接種事業	178,588	
24	公園施設長寿命化対策事業	13,000	
25	外郭団体設立事業	6,284	
合計		468,302	

## 【一般質問】

### 1. 誰1人取り残さない安心安全な防災対策について

**片山** 地球温暖化に伴う気候変動により、全国各地で激甚的な豪雨災害が発生しており、福知山市においても今後ますます住民の避難体制の整備が求められるところであるが、昨年8月に発生した台風7号災害を振り返り、避難のあり方に係わってどのような成果と課題を検証されたか。

**答弁** 昨年の台風7号の際に避難所の開設が後手に回り、自宅での安全確保を呼びかけざるを得ない状況となつた経験を踏まえ、広域避難所の早期開設と共助による避難所開設運営体制の構築を目指し、広域避難所である中六人部ふれあいセンターにおいて、本市初となる避難所開設業務委託の協定を本年5月に中六人部自治協議会と締結させていただいたところである。今後、他の地域においても地域住民による避難所開設運営に向けた取り組みを進めてまいりたい。

**片山** 中六人部ふれあいセンターに避難される住民の皆さんの来訪者用駐車場の機能強化を図るために、隣接地権者より寄付の申し出を受けている土地を取得し駐車場を拡張整備してはどうか。

**答弁** 駐車場の拡張整備については、今後、地域の皆さんと協議しながらその必要性や整備について検討させていただきたい。

**片山** 広域避難所での長期間の避難生活を余儀なくされた場合に備え、中六人部ふれあいセンターに高齢者等、足の不自由な方が、車椅子に乗ったままトイレに入室いただき利用いただけるような多機能トイレを整備し、避難所の環境改善に向けた取り組みを進めるべきと考えるが見解を問う。

**答弁** 市長公約の大規模災害への対応に際して今後改めて検討を行うこととしており、避難所の環境改善についてもハードソフト両面から議論してまいりたい。

### 2. 主要地方道市島和知線(台頭工区)の整備促進について

**片山** 兵庫県丹波市から京都府船井郡京丹波町に至る府道である主要地方道市島和知線は、国道175号、国道9号、国道173号、及び国道27号の4路線を連結する重要な道路である。平成28年度より三和町台頭地区で道路改良工事を進めていただいているが、事業の進捗状況と今後の見通はどうか。

**答弁** 市島和知線の改修については、私(大橋一夫市長)が京都府議会議員の頃から深く関わらせていただいており、昨年11月28日にも京都府知事に対して早期完成を要望させていただいたところである。今後も引き続き主要地方道市島和知線早期改良促進協議会とともに、台頭地区、国道173号との接続箇所の早期完成に向け、連携して更に取り組みを進めていきたいと考えている。

### 3. 男性職員の育児休業の取得奨励について

**片山** 2022年度中と2023年度中に育児休業を取得した本市男性職員の割合、並びに平均取得期間はどのような状況か。

**答弁** 2022年度中に新規に育児休業を取得した本市男性職員は32.6%で、その平均取得期間は4ヶ月、また2023年度中に新規に育児休業を取得した男性職員は58.1%で、その平均取得期間は3ヶ月であった。

**片山** 管理職が男性職員の育児休業取得を奨励するため、市長や幹部職員による「イクボス宣言」や「男性職員による育児体験談報告会の開催」等の男性職員の育児休業取得を奨励する市の率先垂範的な取り組みをする考えはないか。

**答弁** 職員が仕事と子育てが両立できる職場環境の整備や働き方改革を推進し、より活力と多様性を持った市役所を目指すとともに、管理職自身もワークライ

フバランスの実践者となるよう、管理職による「イクボス宣言」を検討してまいりたい。

### 4. 放課後児童クラブの機能と果たすべき役割について

**片山** 放課後児童クラブは一定の条件のもと、放課後の時間等において子供に適切な遊び、及び生活の場を提供し支援することを通して子供の健全育成を図ることを目的とする事業であり、本市においても制度を利用する児童数が年ごとに増加していると聞くが、市の条例に規定されている「設備の基準(児童1人につき概ね1.65平方メートル以上)」、「支援の単位(児童の数は1クラス40人以下)」、「職員体制(1クラスに指導員2名以上)」等の基準はクリアできているか。

**答弁** 「設備の基準(児童1人につき概ね1.65平方メートル以上)」については、一部のクラブで小学校の空き教室を利用することにより、現在のところすべてのクラブで基準はクリアしている。

「支援の単位(児童の数は1クラス40人以下)」については、今年の4月から6月の利用実績を見ると大規模クラブにおいては、ひとつの部屋で40人を超えて利用している日もある。

「職員体制(1クラスに指導員2名以上)」については、すべてのクラブで指導員を2人以上配置できている。

**片山** 放課後児童クラブの「量と質の改善」を図るために、今後どのような取り組みを進めるのか。

**答弁** 利用児童の増加により過密状態となってきている市街地の放課後児童クラブについては、今後、計画的に整備を進めていくこととしている。

具体的には、令和6年度に大正放課後児童クラブを整備し令和7年度から運用開始、次に惇明放課後児童クラブを整備し令和8年度から運用開始、利用児童数が急激に増加している昭和放課後児童クラブについても令和7年度に増築の設計を行う予定である。

**片山** 放課後児童クラブの現場においては、どうしても指導員に相当な負担もかかっていると感じるので、今後も指導員の意見を吸い上げていただくような取り組みをお願いしたい。

### 5. 長田野工業団地利活用増進計画の推進について

**片山** 工場の改築、増築、増設など再投資が必要となっている多くの長田野工業団地立地企業にとって「建ぺい率」、「緑地率」、「環境保全協定」等の過度の規制が負担となっている。平成30年3月に策定された「長田野工業団地利活用増進計画」に基づき見直しを進める考えはないか。

**答弁** 工業団地創業以降50年が経過した長田野工業団地立地企業においては、設備の更新や工場増設など新たな投資を計画されていることから、更なる「投資環境の整備」を進めていくことを私(大橋一夫市長)の公約に掲げさせていただいたところである。

「長田野工業団地利活用増進計画」の今後の計画を検討していくなかで、「建ぺい率」や「緑地率」の見直し、「環境保全協定」に定める基準値の取り扱いについても立地企業や住民の皆さんとの意見をよくお聞きし、しっかりと検討を進めてまいりたい。

発行元: 片山まさき事務所

620-0831 福知山市字岩崎159番地の3

TEL/FAX 0773-27-1265

E-mail markikun.k@gmail.com